

国の伝統的工芸品として

曲げわっぱが伝産法指定

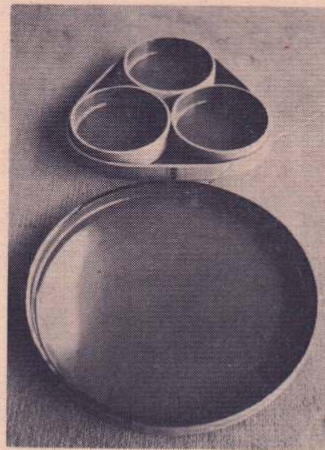
後継技術者の育成などに
国が積極的な助成

本市の地場産業である木製品のひとつ「大館曲げわっぱ」が、このほど国の伝統工芸品に指定されました。これは「伝統的工芸品産業の振興に関する法律（伝産法）」に基づき、先月三十日に開かれた国の指定審査会で決定されたものです。この指定により同製品の販路が大幅に拡大されるなど、本市木材木製品工業の飛躍、発展に大きな期待がよせられています。

天然秋田杉を原材料に、二百五十年もの長い間、日常生活に愛用されてきた「大館曲げわっぱ」は、本市の代表的な工芸品として広く全国に知られ、今では海外にも輸出されているほどです。

しかし、この古い伝統をもつ曲げわっぱも、主原料の天然秋田杉資源の減少による必要量の調達や技術後継者の確保などが困難となつてきています。そこで、市をはじめ曲げわっぱ協同組合では、計画的な後継者の育成確保と限られた資源の有効かつ高度な利用による原材料の安定確保を図るため、伝産法指定に向けて一丸となつて運動をすすめてきました。

その結果、今年に入つてその歴史的資料としての古文書や宝暦年間（約二百二十年前）に作られた現物が発見されるなど、指定申請の準備が急速に整い、



伝産法指定の「大館曲げわっぱ」

東台地区の
住居表示が変わります
11月1日

第十二回 大館地区発明工夫展

秋田県知事賞 菅原 学君(10)

「去年も考えたけど材料の点で失敗しました。今年は牛乳の入れ口と出し口をつくる」と

「やさしさを隣人」に赤い羽根共同募金



「去年も考えたけど材料の点で失敗しました。今年は牛乳の入れ口と出し口をつくる」と

「去年も考えたけど材料の点で失敗しました。今年は牛乳の入れ口と出し口をつくる」と



期待される新エネルギー開発

⑩

町ぐるみの「自家発電施設」(水車)

水の力をエネルギーに……といえ、素ほくなどでは水車があります。現在ではそのほとんどが姿を消してしまいましたが、省エネ時代にふさわしく、再び水車が息を吹き返そうとしています。



宮崎県日之影町でも近々出力二千三百kwの水車が回りはじめる予定で、他に東北や四国でもいくつかの水車発電が計画されています。こうした地元のミニ・プランのほか電力会社も水力発電所の見直しを進めており、国では建設費用の補助・融資をはじめ、新技術の開発にも積極的な助成と支援策をとることにしています。

菊薫る文化の季節です。市芸文連の方々を中心に「市民文化祭」も始まりますが、冷害という環境の中で文化を見直してみたいと存じます。

「語る会」への協力に感謝

七月下旬からスタートしました「市民と語る会」は、十月八日の中央公民館会場で最後



No. 21

「語る会」では申し上げませんが、各会場とも多数のご出席をいただき、建設的なご意見をいただきました。早速整理をしたうえで、早急な実施に向けて最大の努力をさせていただきます。

健康なまちづくり

第八回秋田県老人スポーツ大会で、当市老連が見事に三連勝の栄に輝きました。百五十名を超える会員が参加した清和荘での祝勝

市長の対話ノート

市民の森に

このほど市民の森にシカ園が完成、今月十三日には子シカ一頭を含む四頭の本州シカが